

エネルギーの見える化 エネ達mini

クラウド型多点電力計測システム



H29年度補正予算「省エネルギー革命促進事業」 エネルギー見える化装置の導入が必須に

H29年度補正予算「省エネルギー設備の導入・運用改善による中小企業等の生産性革命促進事業」では、更新設備エネルギーを計測するための見える化装置が必須となりました。

施工会社の皆さん

SDカード記録方式のロガーは、いろいろと大変じゃないですか？

現場に行かないと

データ取得には現場でSDカードの回収が必要
毎月、3月ごと、報告直前？
定期的に現場へ行くためのコスト・時間は
大丈夫ですか？

使えないデータ

回収したデータの中身が欠けてたり
最悪の場合は無かったり・・・
ブレーカー断や、SDカードの破損
回収するまでわかりません



施工会社さまの見えないコスト負担になっていませんか？

EMIのエネ達miniなら！

エネ達miniはネットワーク利用型
インターネットから、いつでもどこでもデータの確認ができます。

現場に行かなくてもOK

計測データはモバイル回線で当社サーバに
自動送信、いつでもどこでもPCスマホから
計測データの確認ができます。
データ回収にかかるコストを大幅減！

エラーデータもすぐに発見

いつでもデータ確認ができるので、欠落・
異常値などのデータエラーもすぐに発見！
欠落は当社からもお知らせ。
データリカバリにかかる時間を大幅減！



- ネットワーク型なのに、ロガー型に匹敵の価格でご用意！
- もちろん**機器費の1/3は補助対象**

現場の実施コストも合理化しましょう！

詳しくはお問い合わせください

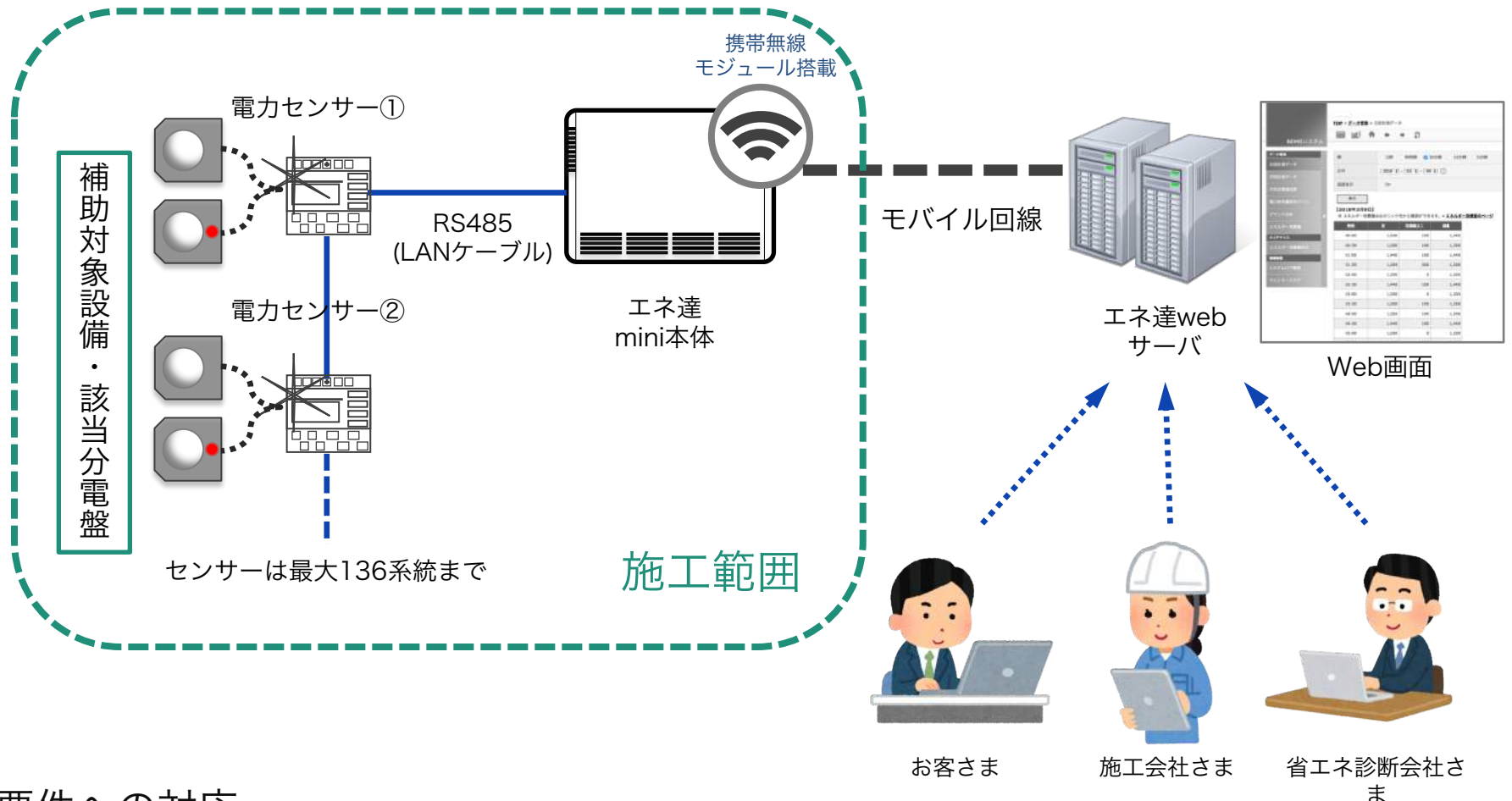
ガス計測もOK

エネ達miniはガス計測
にも対応、GHP空調の
更新にも使えます！

システム構成

「エネ達mini」エネルギーデータはサーバに自動送信、遠隔地からいつでも確認できます。

補助事業で必要な設備のエネルギーデータを計測、携帯回線を使用してデータは当社サーバに集約されます。PC、スマホ、タブレットなどからいつでも、どこでもエネルギーデータを閲覧できます。エネマネ事業でも使われている見やすいweb画面、もちろんCSVでデータのダウンロードも。



SII要件への対応

	機能区分	対象機器の審査項目	補助要件	対応	エネ達mini仕様
計測	エネルギー使用量の計測・取得	設備単位	必須	●	系統（ブレーカー）単位での計測が可能、現地分電盤の状況に準ずる。
		分岐単位（群単位）	必須	●	
	エネルギー使用量計測・取得間隔	1時間間隔以内 (30分間隔以内が望ましい)	必須	●	30分、1時間、1日、1ヶ月単位で表示
	データ蓄積期間	1時間以内の単位 1ヶ月以上	必須	●	24ヶ月保持
1日以内の単位 13ヶ月以上		必須	●	24ヶ月保持	
見える化	端末	独自端末	任意	不要	ディスプレイの提供は無し お客様のインターネット閲覧端末で閲覧可能
制御	制御機能	エネルギー使用量の調整機能	任意	○	パッケージ空調の制御といえばEMI オプション対応いたします

【お問い合わせ先、製造・販売・運営元】



EMI 株式会社

〒101-0047 東京都千代田区内神田1丁目4-15 新誠ビル
TEL 03(3291)5571 FAX 03(3291)5572

<http://www.emi-group.co.jp>

mail@emi-group.co.jp